如の地構成技

し四粒の粒上

十然城を市

乙ののし後

両ももてめ

ののの遊鼓

三を精歩技

程度にの分

に投し象出

既して微温

別群的をも

せ質研認者

はす機む者

左ものるし

之今世世世報局

死性優ピ三告田木

發發

210

アハ合テ四起國非今歐ノ二次治テ

各上何へ但をみで個各日本一会居 自同アンダリーの公園ノリ行ノー

好 二

逐大

以及20 ch = 相三年 4月

マ十組試的と制ティチ

一七合:經路度へ化以五

ク高数二済種テ西郊テ年 二人ナ西ノノ立所二始英

ノ小品製ル員小ノ 止ゃ時リノ然ルル買業 ス

手質質治、ハ分二 ムベニ等ナレタナヒタ ル

サ店サ元ガ大シ共 サシ多ノレド以リ入れ モ

經ノ精若放買テ同 得サクタパモテロル港 ノ

大督組関マテリハ合合タ利ノシ券シ親トの用用不テズラハ合

素做合於ノル九

日五廿月二年八正大

間の協会数百トニレナへ之市西本象ルナ三三遇會田ノカ計海県へ組二ョ度今〇 り家展吾受低要吾未其三面者 産産児ノ三ナナ物リ九又ヨニ洋ナナノ年年ナヒニ男産レリ外ニル台宮リニ日産 同ノテ人タ 廉ナ 人ダ機 屬 ニモ 發華遊視ノ三十十分为九又日三洋ナナノ年年十七二月産レリ外ニル合宮リニ日産 業修選同ルニル同倫園ス於一者全グ業ノン以業へフルテ両 /者至推總高年,與爾年獨,於二,引發除三二,提份至之國貿功、法律此基/至 力又組シャノテシ来始逸斯テ於の今况二月年ル出ト組ガカ易種ナニ修題キ産組 後ニシニノテシ語合明ノチナリシ先骨テ素合産各ナン者途經料者の設を内ニ 以生ト知治へ査常十洲テ及國費へ 益達テ十部以ッリ中治增發へ故テ生ナ作組ノ業位へトガナ済ノ共デッノ部於 ア語のル八组ニノ各ノ今日内租西 るシ全大十テリ産央二殖建我品介ノ合リ合治租 新發ス利端上各同へルハノテ は最後理り上 部々係長々各上何、便介ル公園各日文一合居 改夕園日四次総業會十テセ邦川日報 1 夕法華人 フ速ル 益 で 敬 種 シット 巳 整 産 人に単富富書二々長

上二見附一組ッ千佛ノ國 レ強ルー大台ル八個トノ カペタリ同後ノ第メ及見能テ中ンシレモル リシニ手動盛ニ百ニナハ ラキ超爾三明厄七ルビラ金一コニタ録古、 其實總九力ン至四條スル デ現フ察十治ニ議平今抱チ囲り行ルニ來制 品頭リニヒ之ノ頭デレ買メーー利總更業頭ナ吾〇最之儀自自ハ祖間ハ我〇 物シハ甚ヲヲ賣買ヘハヒニ時個益アニニ買ル人購良ニ勤然治更合強ル邦一 ハ分間ダナ各金組大不入却ニノア物之必組ガハ買機依勉ニトニ事ナ、ニ般貨シ組ノ合組ヒ於合組ヒ又組セ組業租フ 製賣屋利ス組ヲ合第經ルラ多家リ品ヲ要合依今組副テノ公ナ你業キ地於産シ又合チニ合 アニ合 公合ラ合組合良 貯負ルニ合法好 益ナト益割合以ハナ済、テクニトハ組ナハニ連合ナ之智徳以大が事方テ葉テハ員聯於員元正直ア合員テ以リトハ不買ハス小合ル定特案ノリフ償心テナ組買ハモ組使組が買テガ 金二 ハノニナ B格接サナニー上 の短網と其小買員各数 B根効ト観節テ其か合ナ連西合用合生租買産 リ濟益人/買ナニ種ノ之合果云レ倫重ノモ員リ業準ノセ員連合と業 ノ類キシ 仲又取大テリニ不 フ上ヲル雷ヒナ資ノ示テ中 フパノン精ノニ之盛諸効シニシト入又 日学山 買が引買小護大利 、許和、用ハス却原ス説 / べ歳美太神ア及レ大國果ム産の云レハ ヲ其の コテヒ胃ス胃益 小サクト高苦ヨス料が明陽 シ菜徳ルトリポトトニ ル業ルヒ更生 買ャコキニダリルラ如ス買 ○組テニナ組ス同ナ於 モノモ ス目 サスナナキラ防 ナルトの限不モラ組タル組 合養至ス合精時リテ ノタノ 之二 モメノ ル的 ナ事ア種リ經大目合各ノ合 法成りガル紳二富モ ラメラ 生物 等ルコトシ各シン ス情リ質ア濟質的二自要チ 二 ス 終 二 協 的 他 力 組 生 必 組 組要 图 ス 20 飲ナニキ得親更ガ ハモ又品ルナヒト於ノア組 信用 又ルニュ同感ノ州合 產要合 販モメ 合ナ 人リニハラ合ニタ 又アー耗モリスステ職り総 肚ニハニー化一大ノ 質ノテ DA.

云椒加

二物 租头之

賣品 合組レ

ルチト台ナ

租役

BH

穏

9 11

04

會至善組致二面下區 台~於

改へ良合ト至ニナント機テ

ノリ風の立テテハ行 フチエ

良ナノ員獨フ於ルニ

ス合スを共組利ノ事が登標組以キシス組ニト勃勃又受印ノ組〇第チケ品應合其ズニ小テ組、、買正石糖散スヲ知ル」は尼今 上者ル又心發ノ事デーニ同國務ニス以キル例ハシ守遠故活自保ノッ受受、加積金差ル、ヒ サテスルの告ハー品々 ニッコ組掛達多業ル位位事係を對ルテ純コ體獨一リラニ動ノ及如基ケケナシ立ノ引トガチ 以惡ルガ政ナ酒斤二人 府ルト合トセキ順ベトニ業ハナスが出然トタリ人誠ハ組ニ共其シ本自品リ且金ーキキ故ナ テシ事如ハルニチ於弊 知理ナ員手ナチ境カナ量ナ持キル如賞コチル共ノ賞カ合シ同ノの財水質サフト部テハニス 良キ賞キ石樂水ニテ書 事事息/膜が見ニッシャン分冷調キトル息組/不ニッ員テ事心 達其ニン出ナラモ元若割 務盟メニ定シナレ組組的へ遊及株芸同的ス信信實務の合益組

其以テコ産レハ員師得途ハケ事リ途良○事態亦利事ニ組ケス物ル緊鎖一ク租實發問セテハ組《同等ス小組鑽總利二法ハモ臣 ハハファ用す観響シレ語合手ノ組作来 テ射祖 業報目益素 損合 デル 品 ノニ高助現合ニ見シズ共 互合 キルノル商合権 曾二出定 誠又 ア ト 三 係 コ 種 柳 ナ 静 ノ 貳 ノ 業 年 功 風 タ 此 ノ 數 方 全 業 資 合 所 非 ナ 業 健 的 ァ 定組シ云品言合富ティズ法院發合デルノ 發守ノ即即テガベノ買レ リル 便ニカシル 事テ か 章 報 然 フ ニ と 常 業 甘 コ 店 ノ ノニシ 席 機 質 常 ア ス 種 チ リ ア 産 個 發 産 全 接 合 月 又 改 産 存 接 テ 産 ル テ 者 テニ 三 パ ハ テ 全 主 対 人 家 日 ハ ノ 法 各 ル ハ 持 之 リ 産 個 要 産 タ 世 月 甚 良 業 ス 指 超 業 社 シ ノ 大 シ 十 ナ 世 保 ラ 第 ニ ニ 対 ナ 供換 ガル 分 ノニ 使依 ス 間 ス 間 ス ア カ タ ニ に 対 ナ 供換 ガル 分 ノニ 使依 ス 間 ス に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ と ア カ タ に ア カ タ の に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ に ア カ タ の に ア カ タ の に ア カ タ の に ア カ タ タ に ア カ タ の に ア カ タ の に ア カ タ タ の に ア カ タ タ の に ア カ タ の に ア カ タ タ の に ア カ タ の に ア カ タ の に ア カ タ タ の に ア カ タ の に ア カ タ の に ア カ タ の に ア カ タ の の に ア カ タ の の に ア カ タ の の に ア カ タ の の に ア カ タ の の に ア カ タ の の に ア カ タ の の の に ア 教合其フノと員ナ充力ルテニ達ノレ機經達が損チチ與組カナ代ア終ニ利テ組キト業組為退合ノ破ニ能較業程席及アトル各路 デ 替スラント合技テノ者掛合ナノ

日五廿月二年八正大 (二) 音亦式 所知 非官全に競小校會別機同個同同同同同同同語會關楚同同同同都會關稅同同同同語會問題問問問問問問問 代計部調 代計部部 代計部與 員係長部

ゆ任共にの豪丑 大るやの商物質に 平金喜木清喜狼和梅华 準 正有又席業來授本 八ら大末會臨與日答 **全全部助全部邮邮部公工徒一** 年んなにほを式を 全全 全全全全 二事り列所尿をト 月を留す11単海月 十一来るりし行校、 受五言盆のは且せ上 在を再乙丙乙甲乙乙甲乙 質日以々光賞つら書 提出申 河里 丙甲丙乙乙乙甲甲乙丙 乙 て哲学金製る部

图於 野井井木見河川山台遠 政治國象別獨行市梅勝

しの正時取意一郎査事

七百第

谷蹟をを篤ゝ節 島喜代 辭以得賜立亡书 高 四七九十五三四三一 とてたはる常三 す本のも関り回 力 目而生示責徒 のし等を資第 直 名名名名名名名名名名 祭て幸賜 各共 に其ひよ関連 原青に珠下會

のも餘と其

る部はに以買に郎た員組丙乙丙乙丙丙乙乙乙乙乙 丙丙丙丙丙乙丙乙丙乙丙乙甲乙甲乙甲乙甲乙乙乙

小長之審て組當 のをれ議去合り堀處の本 た明治の後期立氏繁共る大一心郎郎郎一郎郎門・二吉一三祭郎一助造造直三衆郎郎郎蔵郎三七郎 り託行任一を題は太調新

後常後何ポテク介テナ自外積フレテ業家揮意の出中十甚良業ス指超業社シノ大シナナ世保ラ劣 ○能ノ、且將テナット線求政 八各ア小ノテッ自中小家社 全精セフ京産四ル民間ノ者其地健康大集ル法坚産ノ自 生も弱のり調スノッノニンノ関上四

10日三回

ハナスニル出

十、区

日外小

造出配

二質當

谷一大

金口へ

五二十

四路 人)示二 1 面目 9

多と二要前要タ議二

-57

= 8

發機

ンりは今

N

校

San San

日五廿月二年八正大 (四) 一个以每餘十五十十 三上年金二圓一條 三様チ六日係り條 宗産出租支土ス分の租買ニ別ニ、本計其シ木特シ原出率本ト本京組木本本ス本ラ本 二一/條十條少條條條條 等 月 か組ニスス立と前介二位改合精度企会依合 第日章 へ金ル特=照丁毎日立毎三二二十八 特工特分損と財ニニ金三野田之財 京法图为分规 回金出 福ニシ出シ定 a st T 分以分ラ英之産之続三之を資産産 日基持資本二 出少分額入依 分针》 込金式立 接足接戻り算野なシンダハニム野 新公チョムリ 開告算工会特 VIN 分ラ分又其定と定ック定格題 サニト シサントノステ指ルの加込シ 二八定被亦則 揭本之少同意 サルナキ木 **个算物其算出算** 控ト行ハク 楊太品ノス資定 除十餘谷掛 1/2 特所力 WI N 特带其植产 毛锅 80 = 者的私 /示牛助 少段補 分值/立路 二轮 据人物 育文十

算米シ **于金钟企**中 题子 路通 > 二一總總裝置二 > 理者稀組期二 > 組理三 一時常ス十回台會期事十か事ノ鉄合ハ十キ合事十 フシ用クッカト合ハッ技七ルナベシ事五明ノ及

ニナス項スルノナ 、後後 三時カラ佐ニニ 在及任選長――八長八條 得億スペ を修うノ條特除條 ノ海目四 招 合並招台ノ分ル粗ト合同 通選事選トタノテ講 任事シノ理理テ理機 経ステス特 記 到日 + 請赦 = 十 + > 剛 與口議 + 協通 = ト = 事從 ケ 年 之祖 小 記 週日ト請戦リ 日本関ク 勝ト決ノ合常依ス後 スフストラ合 三名 知時モボシリ 四本関ク 勝ト決ノ合常依ス後 スフストラ合 三名 ス ス ル所日 タル議 ニ 曾要タス限合理 者 監 監理事 の コ コラ前ル番ノ 依

ノスルリ関事ノハ 非二位 置 二 キ 臨省及 就 前 任 1 7 7 任水

チュ ナ ナシウキナ的 必 月ニナ但ハ四コ三供シ三都三ノ品三宜ハ三 242 操題シ物十 リナセテナ市十承ナナ勝組十三二 一十始十 一ラ易像品 配九 シ組八内七認他六人合元、、、四マ三 (根×ノ引係送係 A合係 / 條ツニ絲ス員條其生調産條り條 染ニナノボ 原於一事業 1月19金1 ノア 単却ッ合組 第合議 認路得テ配 ニ 見かトス勝ノ合 三貝ナ 係 積トシル買取ョ 十ノ経 リケ合テ支送 間へ月揚チ

代キテ物ス扱り 四雷タ N 物 金の理品ルフ朗 條用へ

ス串長三量技長三、理ノ三於二捺及二樓二邊總合合前事二二へ但查合定学ノ 称之十ノ市之十ヶ事次十テ十印語十ヶ十二台ニヶ三放號十キシア員数数場 員フニ査員ナー得及議十之九ヶ長八行七依三於招項アノ六協合をノノテ合 の任餘定の任餘ス監=條ヲ経ルノ徐フ條ヲ於テ集第の堪能合併コ字機以= 理免 其理免 事依 定 コ指 コ 之テハシニト合 ハニト数更テ於 及 組他/ 組 正報事 台ラン台ナ合定要見ルノハ除資料 ※要上除ナル 監 合技指 合 常原及 ノ要ッノ得員ムト選盟場理タノ合組ス田名為決 事 ニ術軍 ニ ノ又監 議スル決スへル認ニ事合事ノ議員員 席 ス議 事 三術軍 原於一事業 ノ 事ニチ 技 事へ事 串 出議 五コス依之ニノ外長ノ鰻 シ伽理へ 料テ日業ノ 命 移園承 術 由手へ ニ 宮鎌 人トタルニ於互組へ同更 其散事出 、取ニ年秋 ヲ 員スケ 員 ナ雷名 圏 者へ 以チャ 當ヶ辺合第章ト ノ及原 若 クラ祭 ス 二理 上得ト ルルニ技二下同 四合璧シ ケ 干事扱 干 シ支職 ル 名事 ヲ キ 其総依之十ルー 分併事タ テ 名務品 名 ラ給ト 細 以之 代 ハ ノ合・ニニコノ ノノノル 底 チェノ チ 俗スス 則 上チ 理 出 多ノ常常経り結 三決選組 ニ キ事等 キ ス事シ 総 ニリ ラ 者 ナ長十組三要ナ 上一及員

17 V 89

、之位

外以稳

晚 他 子台

通 = 例/

ス之債派

ルレ設認

2 7 35 7

人又積。臨損モト傷

ドハ立 時失ノキ金

ノラハ 支稿又其積

10 7

用水

ノ切トハニ

N外 一個

合か地銀 得次 別シ ノン 積年 テ載

ノコ方行係 議特積テ到トタ過立度本載ノ強

総フ股預金 依積金経金 持金ル利合後更等

サハスル道 建五トノ資間年付

スノ 八金 緑ノ 傷がト之合

立 賞+立 西度 レ立場 理ナ承

石根移度行 永 若 取 熱依コール日末フラ 鋭フルハ 、物 每 19~ 11多塩コケ 田藤中 浪選役トケン カシキ は 代トタ ハ 一期之代ト品シ 物調品 炭左 一 移 質従品 質 任 一但 一 之作 レ 席 數議二 *第 * 果 以居任合 年ル 法ム燕 り後金ナル 本 部チラグチョロ 品査 サコ ニル箱 い以支祭ト 組 サ州定へ得理ル・サシ '/ A 强如 --従 組ス及 租 ルツ総 台 署議 議 ノ への三合項 3生 ノ徳鮮ノ 3内部スキ 合 提定ム京ス事物 便又 'シ 日 事 合 数 合 コ初合 = 名技 決 丑 振線貸長第 ス 同級任題 33 和用 ハ五合五モ之相積五長ト四ス資受ニ四タ申根込四 テ四へ核立四ラ本刺慮立四 定回夕四シ - 一総十二十ノナ級人十二モナ ノケ於十八込合書十 シー型除フー為組録分フナ ムナルナラ 算十 モ得シ及十 四 三二 一総十二十ノナ級人十二モナ ノケ於十か込合書十 シー型除ッ十為組餘分ッ十 人四 ノ +死ハ三 、 、 、 、 一会二於一下被人力 豫其九 徳ンラ八後者長テ七 次六年シヘ五ス合金スへ四 「血栓 ト経 ニルロ共体 ~ 犯 + 組第内 物出ノ雄ラ体石相ニ直性告ノ経 込トハ経銀ニ前組像 ニ維度尚キ経モヨノハキ経 体行経設 間シ 第十 第八モ / ト駅 合三二品資次 ハ 俊俊對ナ スポ リス組 合通項合 第第 へ残金 ノリ配コ金 第 / 人

スポムト持失ット ケハルス ナスキ員 ラハ 定キ分ルスト其 キ 金 奥全金 シニ 八金種 準得認 ショス分 ヒ ルキュ月曜 ト ル 貸シハノ 組少 テハラ梅 コノ ハ ラ 金額ニ ラ於 之三 とスア

ットノット 以買 キ 協 フラ教相 合ク 単出議合 ノ智 申 以 又ラ積 之テ ラ積

事 スポムト持失のトケハルスラスキリ ラハ 定を分かスト北キ

り受代代 實理理 当1五 清五 ルラ但博五 ト スニニムニ リ 所区ナ期納スノリオ 有算レク ニス 前非チセコ揚ル要ト 特ト職信待 信其 二特及 細、途チ キ モ国於へ於 信 為シル限付 一ポセ シッタル 其へ 様子要ント込トスス 別ツ負ス別 額ノ 非則損 則コ合要 ハ ノリテモケ 川 アメト後、ニ用ン 複貨の組 ノト ノルストララキ ル 積得ノへ積 ニ年 テ積失 ハトノス ハ ノリラモケ 用 アメト後、二用ン 義為の組 ノト ノルストナナキ ル 理 ト脱止ノル ナ リルキー又 営スト 移ナト会 行き 規ト持ス要称ハ ト

村の日 · 告辦會學校理 を明の後 讀 配與一之 し幣し 式流更

資務院 を終っり

一枚 多岩中野田呈與歌大野下田谷石山賞森新池大島平賞同中让社中小約社賞堀田山同同同提久賞社中賞堀田賞楼谷本西村中立村然谷田西和川田田 井居田橋居塚 鳥村村島寺田村 部村田 部保 村島 部村 棚 越代田 真吉同松之助

真田 珍太

都築物 行公示 高同下和歌山 區 區

爲可能有

郡十野田

安斯日郎宮原

游安内稿

崎田田爪

自然是 育 八 江

コシ市用輸ノ機輸云ト重外製輸級方但当へ條巾輸ハ輸提二製輸效升條通別 上編シ仕 ルテの絵絵の)毀の 者及練機精ス露絵簿水サラら法 ス装ト 外ナ経 ル置スの精制 24

使法ナ上又水ニッ方 場サシ欧チュキル

をに來者五のるはじし機組ん

市技會る第

出 # 韓翡 等個場 / 能式限资热 方 サ方機仕組 絞り築ノ 法 用ニ用ニバ機ア防法 依 ス像コハ生ララグニリ 飲サテ巾 ルラへ露糸川スへ依 精 合が但機以へ 設へ ラ

紋 徒部

請太義次英元格 吉邱三郎夹治子 協三西木小澤園 **本好村本山田村** 國領字 英後後 太三一

一助于二郎一助

小辻江松山周石

粥 田本口本田

作 粉

男市治久郎郎郎

尊次三ス修 三郎太游郎郎 上大足八異常 田味立木 川 荣武卯三芳次 古士一郎养郎

第三

一吉郎一郎古朋 郎郎郎哲吉郎

宇丽美一太忠之 忠致未尊太幸之 永一太省太太

86

後傾倉寺渡大

田口橋田邊島

七郎郎(一 中與小中塚 郑松郎松青

野岩田久伊

村井村保護

米治田

第三

同同同同同同同社

林蘋果澤識伊石大 連囊鹽金奧田川丸 岡沼 濱田

全山田本藤田西 水 田田村原村本 部田 西村密村田 熊喜源久元德房和 彌重善元彈源源鐵 幸信 太之 太之三太之三 獨之三十一次次 表太 次獨三舞情 郎助治郎郎郎郎郎 一助郎吉郎郎郎范 郎郎

す同

12 C 38

長通長以ルフ許

金十二 名 は 年 ル 法 ム 藩 法 本 治 音 声 郎 別 別 ト 依 事

部

38

(三) 號一十七百第 (世紀)第一月(編) 報月合組業同物染都京 日五廿月三年八正十	发生一十七百第 (新日日-月旬) 報月合組業同物築都京 日五廿月三年八正大 (二)
一	元
五 大 大ノク納係ス迄入係ニ別係係準係割係 等等等等級 四三二一二四三二一一 四三二一一 和 水 新 イ	金 五 前 色 色 色 产 色 色 色 極 色 色 色 色 色 色 色 色 色 色 色 色
五人皮提三也經七四 スペスル三提割 税二提收 投請 項項項項 項項項項 項項項項 項項項項 項項項項 項項項項 項項項項	及会員 (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
大正八年度へ機能を受致支援を	置
教文 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	金金金 在
	五 工工
一金五 大 大 大 大 大 な 金金 金金 五 金金 金	
在	人則別九拾內七 拾貳八內七 七引 表於經 九九 九 九 九 九 九 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 如 一 五 如 如 如 一 五 如 如 如 一 五 如 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 一 五 如 如 如 一 五 如 如 如 一 五 如 如 如 如
	拾 四部分八 四部分
等 及石伊 和集印合 前等 戸戸戸戸戸戸 臨ニ 鏡 八ト戸等額 村 勘 製	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本
大阪 一	財産使及議 総 州十十 稳 算 かり 中 レ 中 市 力 し し 申 市 力 し し 申 市 力 し 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
立改にしたにして職務げの身多工で参をし川計築に例 計三二一等	度是給代費 收收收 均率
一年 1 日本 1 日	数 金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金
市を乗り買の氏を対しるを表しては、100mmのでは、10	かれた。 大大治川間五拾式の一角では、 大大治川間五拾式の一面と、 大大治川間五拾式の一面と、 大大治川間五拾式の一面と、 大大治川間五拾式の一面と、 大大治川間五拾式の一面と、 大大治川間五拾式の一面と、 大大治川間五拾式の一面と、 大大治川間五拾式の一面と、 大大治川間一面と、 大大治川に、 大大 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大治川に、 大大 大大治川に、 大大 大大 大大 大大 大大 大大 大大 大大 大大 大
意にを引奉互力尤安ありる格園地の設立 を附類集げ大一もんりてのをは屋跡は往上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上上	七間治七 五 級
た野る表面の題具日一部のよりの 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	接 報 合 告 印 備 女
	が 最 刷 具 總 入度級 總 決 テシシ 時前 鏡鏡拾 領令使會議 出 声音音 入 算 経 給 品 額 録 額 算相 軽テ刺 へ約 鏡 計 種 類 三十十 額 オー三五
第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	20 宜資料毀毀毀 金金割 古 必積ヲ 液 受勞給金費 八百首 費 要保生 用
(大きな) (大き	※ 金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金
他のため見合せたり際與として を関する。 「大学へ十二時間でせり 京都築物同業組合権核薬部規約 京都築物同業組合権核薬部規約 京都築物同業組合権核薬部規約 京都築物同業組合権核薬部規約 京都築物同業組合権核薬部規約 京都築物同業組合権核薬部規約 一章 総 別 一章 総 別 一章 総 別 一章 10及業務 一章 10人業 一章 10人 一章	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
の見合化及り飲臭をして足跡並 一二時間でせり 同時に役員の選挙を行い演目常 をり 同時に役員の選挙を行い演目常 の表に服部松次郎氏、田納役河 の表に服部松次郎氏、田納役河 の最近な事務所テ設を部務チ蔵理スル の表に服部を対して足跡が のの表に服部松次郎氏、田納役河 のののでは、 のので	新
が かか は かか	事合的 背 別
選 カ智経 ストニシシ ルテ係へ ノ常 三引ト シボト ス 知 ス 移 ナ 桐十 投。口 通 崎	新聞

(アロリー 149) 報月合 組 楽 同	(=)
大工	往往
文	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
及	大郎 安郎 古田
如 奏車 美主党 工工 带 一 全型型型型型 二七七七九二一二五 二四五二、 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東太郎 野 山 野
ク別 ノニニ 日上 チ 月 ヴェススル エロニー・〇〇一〇〇〇〇 〇〇〇一	製造大郎
金元 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	最適中液
到	EEEE
数な で	2000年
一般 一般 一般 一点 一点 一点 一点 一点	金香園八拾
1	日日日日日上上上上
を放金をたるき音楽り動すはのな比較り施二氏島全下ジスの を変をたるき音楽り動すはのな比較り施二氏島全下ジスの を変をたるき音楽り動すはのな比較り施二氏島全下ジスの を変をたるき音楽り動すはのな比較り施二氏島全下ジスの を変をたるき音楽り動すはのな比較り施二氏島全下ジスの を変をたるき音楽り動する。	引 金管開
中の注意を対してある。 中の注意を対している。 中のには、 中の	松 大正八年度 大正八年度
大きょう では、	部 股 市
他の一切現場数無く功支監督でて使外接他回る相を勝員 入間四四六 方平 個 合助議 穏 度 間 ス度級 総 決 テンシ 時前 銭銭拾 賃金使金購 田 音音音 ス	30 H
第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	- A
又業 長徳部キ部スノナチ部別ノ部京染部及ト及が上ノト部二 第 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	或百卷拾六 內 譯 全或自卷拾
要出 、	加工を受している。
から、	1 数人
大型 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	段 總 和

コシ巾用輸ノ機輸云上重外製輸較方但者へ條巾輸へ輸提三製輸遊ナ條通別 ト得出ュ出内テ出ファ目の織出リ法シ沸シ 出出巾出機ア織出心ナ りニ 一 一 元 一 一 元 一 記巾用館 一 得物 | シ 羽上 ニ 製及 特 乾 壁田館 チャシ 羽力 ス 精 發 重

キ媼シノ出コ緬 ヘニヘタニケ依品乾 陸帰ノ乾緬使テタニ式コ 練布精御機 住乾ヘノ へ付又へ重ニルノ爆 業機精爆テ用ハル重較ト業 世様

上堀シ仕 ルナハ楡楡ハン設ハ 省及練機精ス器輸得水ナラら法

三機但上 ドハ中出出道キ損益 八郎七及線へ吹出組機要祭れ

っ此出標準のハ又氣 左吹ン蕎セシ機樹輸

公石間

ノ機ト熱ンノ子出

-

日五廿月三年八正大 (四) ルルナ状事十一 一日十 一 ル曾福頼ン長良能ニハ負任ニ祖ラッ合 ルボター年間 カ行二加 ノハラない扱りレキハ七對民情 決日ナ見前達ナテ者職シレニ使ル部 テ及へ関ノ質も称の徒への出が工す 以業シシ属シ/ニ , 第シ歳テト徒歴

法ペシスト N. 7 % 十八义 ガナ キシバ 夢ルフ 打トル 张牛七

介部 15 0 對權 青田 NX

ス受ル N 7 3/2

ル照ル業事上テ役 の干ショハ W TV E

課查項項小 微學

任合財經約員/九二八台七節 NN

白ス部議 部ル貝ハハウ 長トノ 南ナケ 之明上 否書役

次ナ群ニスハニ以ナ電ニー・ニーニー 員ノ九ス入台七第 田セ六モニ五之トの周理計フ部長長三ノ他様テ合ラ要ス二齢者コル地一台間ノ利保 経戸経六 スン様ノ補係ラキ多様シニュ長の二様 法アルスで物 修備のト不順維 都 へり ト鉄 決不敷 部部トハ部部シス役ス選役ス年投役ノ軽キ部台ノ役 班員 長期員財政公長,事員 者者/產/代子招移/ 重二 八年任 行定 要圖 部 小期 上數 同以任保支ス佐ン総限 台理ハ 前二 年テハ管並 三由二 任終 節之部スニ 70 ト 数同少 チ数其

7. 1 % 機メン

員又三長三州の時三數店ノ三 ニハナニナコ其別十ナ代出十

、之来會へ會 者往公格取員遠二遊議二議 ルニ代文示標百の約署ニハアノ取取金アチ華國シ酸名出議ラ決 ラ受受 二以テ 分保密事 申載 支ケケ遠下左 存者録レ事

被長隨

201 シシ項 普

完、ハノ女ル金ッ

へ氏調賞ハ 出キト處テリ員 シ名製行部 リノ科行

法ヲ携タタ背ノニ スノタの項 ナナヒルルシ盛場 ーサ又モ注タ約ケ 議項 組

セルン 主モラル ルノ示 リ ス写

執行テ組の部長ハ

144 畑 商 通錦小路角 店京都 程奉 電話(中)三二九八番

願

加二郎 熟依二 り受賞者は代理事

果部止付子 副左々セラ使 部の部シハ用 長題 長人向サ り以 バラ 許笠宮下コーサ 浪選役トケ、

部

一枚

杨田部第

直南同松之助

總代理

村の食

別の投

式を終

~ 5

林和川 田廖 吾正飾 田縣中

部二等

京サイ大號公

三者第

水第

高同下和歌山 區 區

安木今縣

為可能有

即十野田

安蘇町目郡宮原

崎田田爪

例今同富友 京廿 六 六 日 日 日 紀 都 五 日 條

个股

松雅

同同同同同同

田田村原村本

真之一

吉助郎

し言語を対して を表示を を表示。 を表示を を表示を を表示。 を表示を を表示。 を表示を を表示。 を 然の成時の荷史粗 の脅りの役等要し責でを対行にる者とと

を木所蔵時 し銀井なり 长刚则は十

吹得《出

分燥

徒部 徒弟等 徒弟等 簽 多岩中野田足與張大坪下田谷石山實森新池大為平實同中让让中小前辻實堀田山同同同堀久實辻中資堀田實標谷本西村中立村然谷田西和川田田 井居田橋居塚 局村村島寺田村 部村田 部保 村島 部村 糊 一吉郎一郎吉功 郎郎郎哲吉郎 沒絕倉寺渡大 野岩田久伊 田口橋田邊島

巾用經介 二設乾子組力此介加出申韓萬 等偏場/柱式限污熱

サ方機仕組絞り築ノ

使法テ上又水ニヲ方用ニ用ニハ機ア防法

場サンサテュキル

ス像コハ生ララクニリニ Nラへ露糸用スへ依 精 ア

合が但機以へ 設へ サテ

ナコシノテシ 値シ ナ ハ

小辻江松山岡石 带 田本口本田 16 橋三百木小澤陽 **平好村本山田村** 國儀字 英凌俊 太三一 男市治久郎郎郎

太三郎 同同同同同同同位徒 林藤栗洋遊伊石大 连表鹽金與田川丸 岡沼 演田 堂山田本藤田西 水

村井村保存 米治田 群状三ス修七郎印 中與小中塚 西村粥村田 菊 旬 次照三修清 郎松郎松吉

伊夫助正三夫

三郎太勝郎郎 吉士一郎孝郎

組京业如公司

田水口尼 村部部明屋野太野山川奈 田田城川本木川井部田井影 仄

由下行中中野本木尾本 利山田田浦村田谷谷 上波縣木田川保井木崎田橋納地松岡鄉高田 出行 由富特名語留時 黑八恒查常已秀伊直荣由縣岩富都太新情庄米友实 蓝三太然何头头头

命者館原作物二夫證青青經路館的館部一二部部館夫青青路館殿吉青郎書館館書書館館館

部部

日五廿月三年八正大 (四)

テ八出七キカ NYS 十八义 ^ 档

經ル業事上サ後 拒ヲス ス受ル チ 明ルケ事 分 ヲ

|権合財 総約員/九ス八台七第

微事

粉ナキシハ NE 帯ルッ 1 11 4 打トル 张牛丸 3 1 賞ハノ シシ項

シス役ス選役ス年投役ノ軽キ部會ノ役 長原員財費の長ヶ事員

會理八 前二 省员 否告役 精ト 議同シ 務 長事

自ス部議 部ル員ハハハ へ合 長トノ 派二 二十任 NN 育サケ リ股年 競員等 2 "

代文示標百二約署ニハアノ

主モッル サモト リノ科行 ルノ示 リ ス写

議項 組 ス雌台 同出上

1 11 11 1 物三合部三 一 一 一 一 一 一 一 一 一 同十組合十出登登職理シハ不二役ノ十商同テ停の同文ア同 業八長ア七ヶ記記工由メ職正係員へ六號業ル止ル業テル業 程修二招修ナ要取徒ナルエノル委金條商者職又モ者受モ者 中集 サ件消第タ情カ行臨員紙 標ノエペノノケノノ 定本請シ前、ノナラ部ラ不為核及抬部サ最徒禁 受損又勞

安全の を表示の を表示の

輸 用 小 命 路 通錦 程

烈

们 畑 商

店 小路角 話 尽 中三二九 都

太夫太夫太太京三大京太京 太夠太宗郎 地區地區一座一座第一——

提山川上吉旱橋大村間武酒加佐吉井增村或元北富田福田松啖田谷中戶面福古山高與秋橙松角成岸西田北伊森上古大西 田口田村川崎原松馬村井海野田上田上宮賀村永中田中見尾中 尼水岡田川中田村山原田田湖 村中岛藤田田田谷 来来國太卵石珍長、發行所與其實三伊喜太國菜頭安貞正但剛正安情界像來總督職業總行物學於實持不改初於利安是一書書書館助館男祭優司館館一館助一郎藏書館館男者於書館來館館書館館館首英殿部二郎助昭館館館園館館館館館

校許自合普目

か開催せらる 教育を教授される なりを志望者 をゆる志望者

具等中依数

杉廣吉坪前山福三前應吉標澤周安松水青三大米鄉沒吉水湖田田田本島上原野川井村島田井江水浦木山村田武

青田林

田室玉

一书书第一一

二重精

越级

総日

即付

何何

女何人

1

精練

高ノ谷

棚

12

nn

氏

2/3

日何程(男女)

别别

妈妈

此村

你出

清英

A.10

全全文文全文全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全

全伊全全全殿吉松小全全鈴友新松鈴全井鈴木全松全仙全全全全根全横 蘇井岡島 本高谷湖木 上木內 湖 石 野 山

村秀吉廣大谷吉吉上山山平水山山富北柱平小深小清村子名名字馬川獨勘 期 川河湖原口田安田本本井田田本島出 野泉見末水上安和和水湖島野 兵

邱豐郎治榮助助邱郎郎郎古古郎古印思男威郎郎郎治古印第一荣古古古澄

倘仙召

見村部

粉以

全全全全全場全全全全全全全全全 都五少维號

12

卯器質組京日如六五

超青耶部部 節節部 郎 平

大正々組合公

八年完小

年ノ鉄第

公里

示験

XI

割 深山 井田 林村村

寅 仙之 京萬 次工鍋

古 一助 一廠 邱塢松

菜分

6

00 CD 00

SHEETE STATES

ナタ吹海ル二朝 ~ 其写解染经验

加他心二致核人生解染分海二經卷形 酸 / 羅依/樣夕又七般, 若经絡牛肽 シー絡り懸タノ年ヤニ溶が微シ更り 賞あ無張のの総論る施の様子り森なをを地を 如に単 自当るて総合港で散と改にな産るに小為複集権 よら至るり間。線のる類にに合既 局る考す上に下館もず積物が組にり背間方國 地し良楡の地場し輸し者の査飾りの料の始しのテに要は開闢数数

集則を殊時でな数らて港方品 3 18

も行て然む結せは地輸多包養産き田をて示なの若額選且や多組るをご 認ふ加れる果等檢に出位装の地で取促組しり結構はみ報否數合組算し め必工どのをに査送包なを統領は結す合た 果粉大其りやには合すて のの重合館 も利直依然り易る解一査産に方のる にか正のたはし間に結集 効器組を機 りある連錠接り一巡に時くをを地間針設組 よら七檢る提 檢るの地あ製工上は陸期等為以及すな置合 りざ年查禮問總十 を堪にる縁国不で害に顔すて帰るりなは 漸る絵を類なて八線右る とは同於なのの除於所でにるるかと檢頻もとに方 に組役な舊位例はき地らど其ですすなるたて は合意りにそど触場檢しをの之又るる達を行ってのを現依しし出合強め得缺に不はの地蓋系

以十八部首シ知

テシ級分り組ラ

提品分

7 70 h 間 / 溶

鏡も各と高近檢し以に一 す一脊線針 個多種すすの査縮外総経 る的にし をきの総可媒を縁の館に 看檢加索 讀もも館(お買物籍総正 段査入設

輸

TUS5

相畑商店京都

電話中

都支店

川小路通錦小路角

命

程

願

〈及 認を 組對考

て標行すーに提書形 鉛単すべ方申舊る式と 以公文省す支(な て結婚にべ部絵を

の位置を対する。 の場合 を本省に に一とを

種各巾小巾大

御

用

命

被下

度化物

三歲以 富館谷園武北阪清伊內上近西高矢安小森村內大種池橫西開長總吉石俊柳吉長近近後 島 口野村村東水蒜田松藤村田野川笹水瀬田 田本山田發田富田川木田田谷雕雜雜 復

用

部

用

★組合

八夕宠示

年一姓第

助組京世左六四

工具集日如二 200

全全全全全全全友糊全全全全全全全

仙野

服全全服高全措西場倘检吉小平伊古

오소소소소소소소소소소소소소소

山竹口橋川田邊東野田倉谷

殿一郎

部語 山浦都石岡井林岡郡深

都五ノ條災

公弟

育せ出日則を造る流 翌午 は 份 塢 來 檢 本商も規前左受はる責 頭島の則光のけ多六 りにれ實下施外

展一郎郎

全全全小北原大伯松塚古全全員松整

小高弱中山伊北水且小久林平山中山勘

五萬佐光末末 德文 喜萬安末你 衛

田松田地口每田田味泉保 野田野崎

保古松郎吉吉男吉吉郎郎殿耶郎吉郎

、者田去に趾、査輸

島村大塚石浦町川

三次分太重次才太

部第工基本部市局

伊来路治 明

利致なな祖世光神ら二五衛育なせ合ちて口質

蘇材料国府右ら物るに 思太式銀技にる株、保 京七台常手歌〉式こる

污染、 側切其の他の缺點

民民民民

長光發工

を驗

偏質の名 の分り教

全全全全全全全全全全全全全全企业全企业由全本山野全本和野全 川口 村口村 **自**之組 京 十六 強 元 六 號 已初型 助邱郎助 市助 助助郎 li it

類田服原小小松松中水水水水勝大大富土仁治谷者治額竹毛杉田網提應勘 野中部田寺林本本歐井井井田水西谷田居木上 村田原中利本中崎久田兵 一吉郎郎郎郎松助郎媛郎助郎郎茂藏治一郎郎一古郎吉郎郎郎郎別郎郎

全全全全全全全全全经和形象友相全全全发生中全全全全全全全全全全全全全全全全 布布影布伯帛 整色員整員色 全商全伊河伊山树伊油部築管部川染初全全林全員全安全近鄰古全全竹吉近古兼古岡平全全全 據村海田形葬上員部蘇貝村部田 相 原 四 田 內田藉田松田島井 书 百 型 清豐百豐 豐 太寅太大夫太德口田芳谷泰吉九 大 合 荣 大 之 吉 郎 次次合次多次重市 那遺態節節節部得榮含文久助問市

高高吉谷白平時吉吉深小橋松竹小是中麓林波面山佐原東長杉小田西久山力吉村森杉和北森山 福福田猪井光調田田川林本本內木金西木 盡過山田々 野川田山附澤保中丸田上田本八川岩田 郎嚴郎維市郎健一吉郎郎郎郎三夫吉郎助一淨二松禁吉助郎治郎郎吉英市嚴助

全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全 大正 大正 入於者不 廿二第 停節

出谷田村木邊安飾井谷夼野林野岡木木政野中井場西長林潮々兵

0 全全全全全全全全全国青全道全接全全全全企即全全全全全全全全全全全全全全全

邸邸之郎市郎助松

正》合

年六月ノ

八夕定不

源 縣治等作 次何太三太次

上松山吉河本中谷大山 野井口田合原村口森崎 頂修清與廣樂奉李民良 古平七作志一一節直線

友权和 独阳独 員部整 材料员 五脚網組京 第木 木星鄉勸 村田田兵 另一多衛

소소소소소소소소요 竹陸大中新山全全全矢 中田野村道崎 野 全全全全全全全全全

日五廿月六年八正大 號三十七百第 (1998-14) 報月合組業同物築都京 影九要デハチ蹟七シナ大シ五国 七條シル條得ナ條一ス條公條條 一三台十二一 锋=一條條 節懸左向はに云朝 ラ則貴ト自殺自合二八 八台間少台台 六格ス十大型 担諸ズガノスニ質内ニ 月所 自正学 前八条 班 信 松七州 請收 間がある

二出者差金ス

ノ住所

記数ムシ最

牌上

11 12

五次景

優又

12

商政 自以 之行 ロレ = (0) 二七 十段 對力 一設十品十十前ペ大品十差品の出ラッナー三、一、田十、江西の日項シ正中三出目大シ選モニ、一、田十、江西の日項シ正中三出目大シ選モニ、「一、田十、江西一三水縣本及表粒服室金銭布毛無線機度衛用概品限三 1有関係を保定ノ 八込係ス鉄正承へノ係ス鉄ノ風客他非ス條作産治療物装、及内局が、縁地物物量用本目へ部部部

品又獨得第事本 四二へ六一出ノ發認序ラ、製土シ月製品 性トラル共 ニベグス二粉質 シシル 項所/ 認撤定 解且項且出資 定入サ 說道/遊品 書二永二申部 -チス受 ラー 株式館の中込書に ・本合理 ・本合理 自第受事三二 二个務便也 務號夕所用人 所ノルニ科ト

7. 9 出 品分二十二三二出《代二前《裝二節三客十差數八十二多節 ニノナッナ日十品 ~ 個 十項 ~ 飾十四要箱九出シ年入之松外 宇 一看 ~ 項館シ七自棚館 ~ 三四得三ョニ付出/浄ーノョ、経部スノ経スタ五條フ牧 = 間 間 做左ノッ除経辨ノ列 札上出 出月出紙チャン出と得及品品用出品 以十條文台で言言 品十品 / 添 ~ / 品 - 即人人及品物 付手ヲ ハ日ノ本付と其ハ間 アリカスを

22

買ル

リハ関八

中代價百年七月

103

京 許被

キハ出 異議テンション 十之月 質以

△清品

16 1

ス同

中立

2

v

N

N

サ開出始

9 %

少定

ノル系を適

1/2 2

. 1

- 7

質ハハ祭ノノ

二教前役陳蓬

岡用項出る海流

勞辨猶人護列

移シナノ及用

本品も消費

品シーステ

住產 '日具

設造認ト益康

園部受ルル館付付

番、ンシノー金金

本名スと認六四六

ナ名ケ可モハ

マ品ト トザ

良の二 録フ除 スルン

光田サ シニ 對

ラ六五モ四ハ三 べ物×二合一ハ條復キ九與八テ七ノス大テ五ドナラ閉ノ ア 内シンス線 修用 他コル 情又三事 手内額テ 原 ニ ト 列 理中 人ト版 アハ差ブ 財ニショ 坳 × 坳 ヲ破 ニヲ別 ~其田得 金代型的

ラ本六

シ限ス久品 但列ルハ人 シ間コ陸ハ 年 ` ト列木 周原ヶ豪會 湯臺 四永 学图 ルス 政経 切合ニニニニ 八二付付付付 そんいり ノ場の費 各於金金金金 出于六拾七拾

程原 四月 除自 人倫圖園園圖 田岳

外 ~ リ 施祖 鎮得塔 マノス此 小領替妻 ツ ト 間 シン メ ハ リン 会 附仕 ~ 変

上とみの本年 所在限上七內高大器用語和松谷安中依犯職非大 中處る考十食傷管枝聯田田照周野食田川部上祭 込まるでは、 立立の ないでは、 な

月様四 式六受八式會ルニリハ受覧 トノ生産及洋品局類品無性特際類類機維備和面如、確接 十式部 第月ッ年第二モ場ト秋ヶ會 ラ各二類容額、子 品物、、 調整物操刷件を開考ニニ

シニ総核単鉄遊り、、用具及睦様、輸、牧、業等該テ、子料監紙皮提具、香郷監督、麻練写 四當一車、水具及旅都、指料、系揚模機物其形 品具"具品本防麻黄"则量"少